

第7－① 多様な学習機会を提供する

取組42 生涯学習活動の推進

○ 現状

生涯学習とは、人間が生涯で行う学習活動の全てを指します。生涯を通して学習することにより、社会の変化に対応するための様々な知識を得ることは、豊かな人生を過ごすことにつながります。

県民がいつでも自由に学ぶことができるよう、学習機会を提供しています。

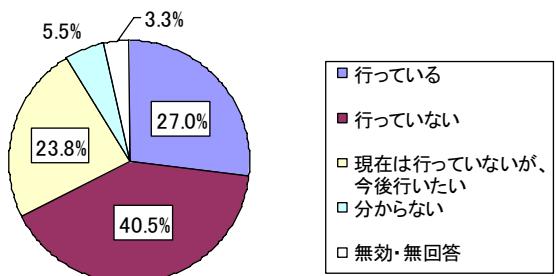
(生涯学習の実施状況)

群馬県の教育に関するアンケート（平成20年）の結果では、生涯学習活動を行っている県民の割合は27.0%ですが、今後、生涯学習活動を行いたいという県民も23.8%おり、生涯学習に対する県民の潜在的なニーズは少なくありません。

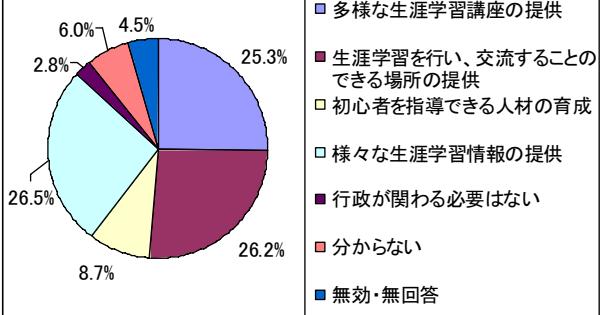
また、県民は行政に対して、様々な生涯学習情報の提供（26.5%）、生涯学習を行い交流することのできる場所の提供（26.2%）、多様な生涯学習講座の提供（25.3%）などを求めています。

群馬県の教育に関する県民アンケート（平成20年）

通信教育やカルチャースクールへの参加、または社会参加活動等を通じ、生涯学習活動を行っていますか。



県民に広く生涯学習の機会を提供するために、行政がどのように関わるべきだと思いますか。



(生涯学習の支援)

・ぐんま県民カレッジ

県生涯学習センターが中核となり、県・市町村・大学・高校・専修学校・博物館・カルチャーセンター等のさまざまな機関と連携し、多様な学習機会を提供しています。

・まなびねっとぐんま

インターネットを利用し、県民の誰もがいつでも簡単に生涯学習情報を入手できるシステムを運営しています。

ぐんま県民カレッジの実績

	平成19年度
講座数	2,508
累計入学者数	5,640

(生涯学習施設の状況)

県では教育・学習施設として、図書館（1館）、生涯学習センター（1館）、ぐんま昆虫の森、ぐんま天文台を設置し、県民の学習ニーズに応えるとともに、本物の魅力を体験する機会を提供しています。

○ 課題

- ・県民の幅広い知識・経験や、生涯学習を通して培われた技能等を社会で有効に活用できること
- ・学習した成果が社会で適切に評価され、活用されること
- ・生涯学習支援のため、現代的課題に対応した学習プログラムの提供や、市町村、大学、民間事業者などと連携した学習機会の情報を提供すること
- ・県立の生涯学習施設で、県民の多様なニーズに応じた利用しやすいサービスを効率的、効果的に提供すること

○ 取組の方向

- ・生涯学習に取り組む県民の割合を高めるとともに、学習成果の適切な評価と学習成果を生かす取組を推進します。
- ・県民に学習機会を提供する「ぐんま県民カレッジ」を充実します。
- ・県立の生涯学習施設での教育普及活動を効率的、効果的に展開して県民ニーズに応えるとともに、本物の魅力を体験する機会を提供します。

○ 主な事業の概要

事業の概要	担当部署
<ul style="list-style-type: none">・ぐんま県民カレッジ 県、市町村、大学、民間事業者等と連携し、県民ニーズにあった多様な学習機会を提供します。また、受講者の学習成果を評価するため、カレッジでの一定の単位を修得した者に対し、奨励賞を交付します。	生涯学習課
<ul style="list-style-type: none">・ぐんま県民カレッジ「県民企画型講座」 生涯学習の成果を活用し、県民が企画を提案し、講師を行う講座を実施します。	生涯学習課
<ul style="list-style-type: none">・まなびねっとぐんま企画運営 インターネットを利用し、学習機会の情報や指導者に関する情報など、生涯学習に関する多様な情報を発信します。	生涯学習課
<ul style="list-style-type: none">・県立図書館、県立ぐんま天文台、県立ぐんま昆虫の森、県生涯学習センターの教育普及事業 県民ニーズに対応した教育普及活動を効率的、効果的に展開します。	生涯学習課

○ 達成目標

目標の概要	基準年度の状況 (H 19)	目標年度の状況 (H 25)
・ぐんま県民カレッジ入学者数累計	5,640 人	6,300 人
・県立の生涯学習施設の入館者数（利用者数）	750,582 人	760,000 人

トピックス

・群馬学連続シンポジウム

県立女子大学では、地域貢献の柱として、群馬の来し方行く末を考える「群馬学」の確立に向け様々な取り組みを行っており、中でも多様なテーマで開催する「群馬学連続シンポジウム」には延べ1万人以上の県民の方が参加しています。

平成21年度からは「群馬学センター」を設置し、人的交流の促進や情報の収集・発信機能を充実させ、様々な視点から群馬の魅力を県民とともに掘り下げていきます。



群馬学シンポジウムの様子